

学習内容報告書 フォーマット

学校名	島根県立吉賀高等学校
授業者	田中誠二、佐々木隆志、齋藤遼、円山洋輔

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

学校設定科目：「環境基礎」「環境演習」

1-2. 学年

2年生地域創造コース（グリーンライフコース）、3年生地域創造コース（グリーンライフコース）

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

環境基礎（2年生）、環境演習（3年生）

1-4. 単元の概要

環境基礎（2年生）

- 1 高津川の生き物調査
- 2 高津川に関わる環境学習
- 3 吉賀町と海とのつながり
- 4 森林環境学習、木の建築

環境演習（3年生）

- 1 高津川の生き物調査（高津川の生物図鑑作成）
- 2 吉賀町環境学習
- 3 森・里・川・海の連環について

1-5. 単元設定の理由・ねらい

「森・里・海連環学」を学ぶための類まれなる優良教材である高津川を軸として、森～川～海および人間社会とのつながりに対する理解を深め、地域環境保全を担う次世代の育成を図る。また、ふるさとの環境について、実体験を通じて学ぶことをとおして、本校がめざす生徒像である「地域の様々な人と交流し、力をあわせることができる生徒」「地域の環境資源を活かした学びを共に自分と向き合う生徒」「地域の現状を知り、ふるさとの未来に向けて行動できる生徒」「地域の中で学ぶことにより、広い視野を身につける生徒」の育成を図る。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

- ◎地域環境への理解および郷土への愛着心の向上
- ◎問題提起・課題解決能力の向上
- ◎伝える力の向上と地域とのコミットメント形成

1-7. 単元の展開（環境基礎：50時間 環境演習：43時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
20	高津川の生き物調査（2・3年） <ul style="list-style-type: none"> ・高津川に入り、川の生物を捕る。 ・溪流釣りをを行い、魚類を捕る。 ・捕った生物について観察し、撮影等行う。 ・当該生物の環境的な意味や価値について学ぶ。 ・高津川の生物について図鑑としてまとめる。（3年） 	川の専門家である非常勤講師による生物捕獲、溪流釣り、生物調査の指導。高津川の生物について、図鑑及び講師が作成した資料を用いて講義。3年生はPCを活用して、自らが捕らえ、撮影した生物図鑑づくりを行った。
20	高津川に関わる環境調査（2・3年） <ul style="list-style-type: none"> ・水質調査を行う。 ・砂防堤防について現地視察と講義 ・魚道について現地視察と講義。 ・河川争奪について現地視察と講義 ・高津川のダムについて現地視察と講義（3年） 	川の専門家である非常勤講師による案内で、高津川の環境調査を行った。現地にて実物を見ながら、講師が作成した資料を用いて講義。
20	吉賀町環境学習（2・3年） <ul style="list-style-type: none"> ・野菜づくり（植ええから収穫まで） ・棚田について現地視察と講義、農耕体験 ・わさび田について現地視察と講義 ・下水処理について現地視察と講義（3年） 	非常勤講師による指導を得ながら野菜づくりを行った。個々が、自ら選んだ野菜の種を植え、収穫まで世話をした。また、吉賀町の環境について、棚田、わさび田、下水処理場等、現地に出向き、棚田所有者の方、わさび田の所有者の方、下水処理場責任者の方らの講義を受けた。
8	吉賀町と海とのつながり（2・3年） <ul style="list-style-type: none"> ・ハマグリ稚貝調査（2年） ・吉賀町（高津川）～日本海（益田）までの、回遊魚の川下り疑似体験と講義 	非常勤講師による指導を受けながら、現地NPOの方の協力を得、ハマグリ稚貝を獲り、観察・研究した。吉賀町高津川の源流から、バスで高津川沿いを下り、魚道や堰堤を確認しながら、回遊魚が川を下るルートを学んだ。バス内で非常勤講師による講義が行われた。
15	森林環境学習、木の建築（2年） <ul style="list-style-type: none"> ・林業体験と講義 ・竹林被害について、講義と伐採体験 ・木を使った建築の視察と講義 ・木の家及び木を使った店舗の設計 	非常勤講師の指導により、植林体験、伐採体験等を行った。建築の専門家である非常勤講師による、地球環境に関する講義と、実際の木の建築視察を行い、講師指導の下、設計実習を行った。
10	森・里・川・海の連環について（3年） <ul style="list-style-type: none"> ・講義 	現地体験や視察体験を元に、非常勤講師より「森里川海連環学」について講義が行われた。レポート提出及び試験を通じて評価が行われた。

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

高津川生物調査

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
胴長靴に着替え、ガサガサ（川の生き物獲り）実践 （反応／生き生きと喜んで活動）	ガサガサのコツを伝達、個別支援 （積極的に活動しているか）
ガサガサで獲った餌で、溪流釣り実践 （反応／熱心に釣りをを行う、互いに技術やポイントを教え合って活動）	溪流釣りのコツを伝達、個別支援 （積極的に活動しているか） （自らポイントを探し、工夫して活動しているか）
生物観察 ※ガサガサ、溪流釣りで獲った生物をケースに入れて観察及び講義受講	獲れた生物について、その名称、特長、由来、価値、川にとっての意味等を講義。 （興味を持って観察しているか、高津川の生物の特長や価値を理解できているか）

3. 今回の活動の自己評価

新型コロナウイルス感染症の影響で、年度当初は登校できなかったため、予定していた内容は少し薄くなった部分もあるが、概ね予定していた内容をこなすことができた。また、すべての生徒が、ガサガサでの虫や魚獲りに関して収穫があった。また、溪流釣りにおいても、多くの生徒が釣果をあげ、十分な調査を行うことができた。特に、今回も、高津川独特の魚である「オヤニラミ」や、貴重な「イシドジョウ」も観察することができ、高津川独特の生物をしっかりと観察したことで、高津川の水質調査や生き物図鑑の作成にもつながる活動になった。

4. 今後の課題

- ・釣りに慣れていない生徒の支援
- ・天然記念物に指定されている生物や、珍しい生物、高津川名物の生物の研究

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

- ・生き物の捕獲活動だけでなく、調査活動にも力を入れること。
- ・生き物の生息環境と、高津川を始めとした吉賀町の森里海との関連について学ぶこと。

※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。